

野母崎地区の皆様へ

アンケートをお願いします！

今般、以下の理由により長崎県亜熱帯植物園が廃止されることになりました。
また、野母崎高校の跡地も未だに具体的な活用策を見い出せていません。
これらをそのままにしておいては野母崎の地域振興にとって大きなマイナスです。
ついでに、地元の皆様のご意見をお伺いし振興策を講じるため、アンケートをさせていただくことにいたしました。何卒、趣旨ご理解のうえ、ご協力をよろしくお願いいたします。

長崎県議員 高比良 元

I 長崎県亜熱帯植物園に代わる賑わいの場、憩いの場の創出について

亜熱帯植物園は昭和38年の設置以来、これまで観光や県民の憩いの場としての役割を果たしてきました。野母崎のシンボルといってもいい施設です。

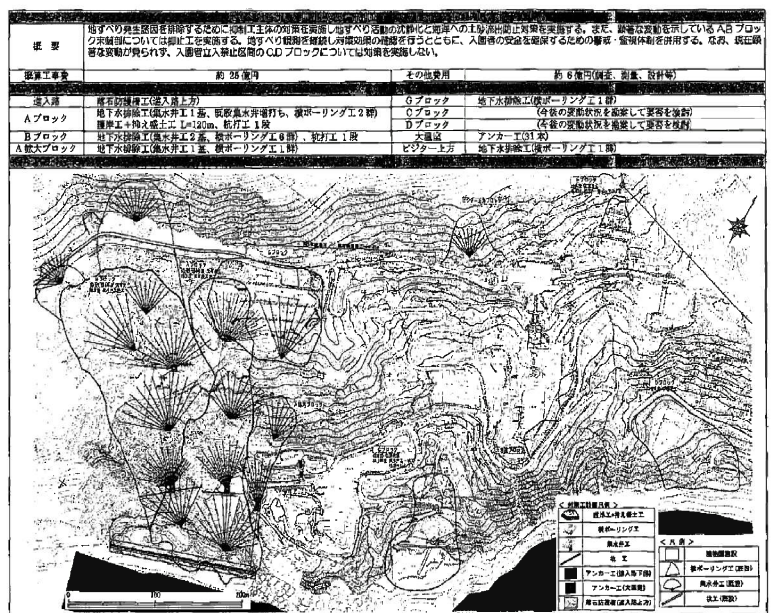
しかし一部が地すべり地帯にあり、これまでの専門家の調査結果の検証により、当面の対策工事として最低でも31億円が必要で、抜本的な対策工事のためには更に多額の費用を要することが明らかになりました。

また、この間にも地すべりは進行しており、既に入園者の立ち入る範囲にも影響が生じています。地元としては何とか存続して欲しいというのが願いではありますが、今般の6月定例県議会本会議での私の質問に中村知事は苦渋の選択ではあるが営業を停止させるを得ないと答弁しました。

これまで所管の委員会で私としても多々議論してまいりましたが、残念ながら県の結論を受け入れざるを得ないと思います。

そこで廃止で終わるのではなく、亜熱帯植物園がこれまで果たしてきた役割を踏まえ、他所での観光施設の整備等、野母崎地区の賑わいの創出や地域の活性化に向けて長崎市とともに県も主体的に取り組むよう知事に要望し、知事としてもこれに積極的な回答をいたしました。

つきましては貴殿におかれましてはどういったことが振興策として良いと思われるかソフト対策も含めお考えをお聞かせ下さい。



※このことについて皆様方のご意見を別紙回答によりお寄せいただければ幸いです。
よろしくお願いいたします。

裏有り

Ⅱ 県立野母崎高校の跡地活用策について

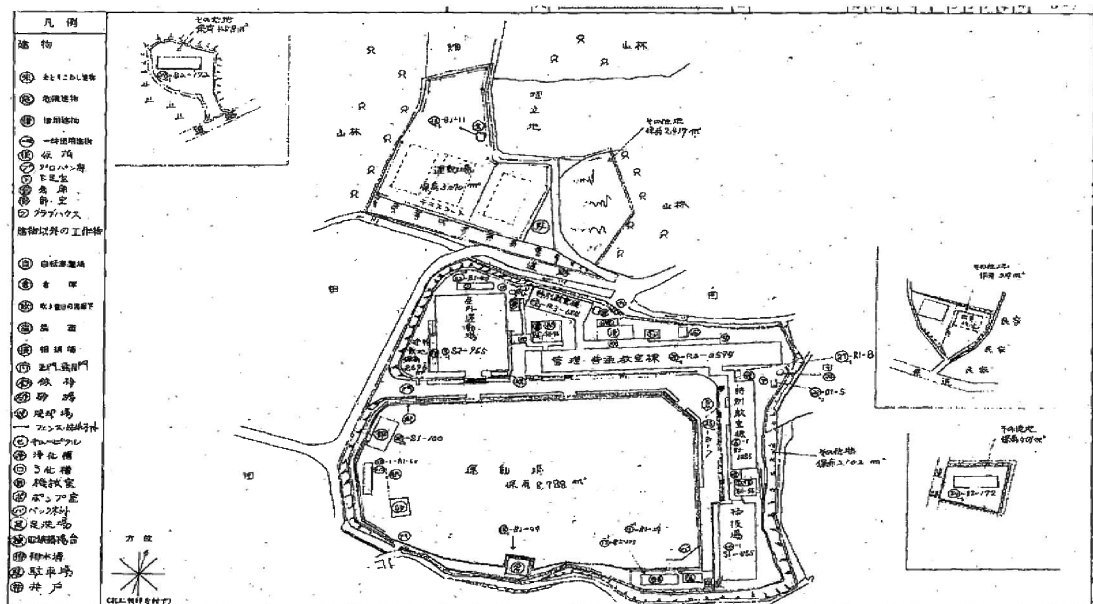
野母崎高校は平成23年に閉校し、46年間の歴史に幕を閉じました。平成23年から26年迄、青潮学園の建設のために野母崎中学校の仮校舎として活用されましたが、その後は未活用のまま今日に至っています。

そしてこれまで跡地の活用としてどういったことが考えられるか地元でも協議がなされるとともに、県や県教育委員会の横断的な検討会議も開催されてきましたが、新たな公共施設としてはもとより、民間主導での対策についても具体的な素案が提起されないままになっております。

野母崎地区は小学校の閉校跡地の活用の問題もありますが、とりわけ広い敷地と建物である旧野母崎高校を無人のまま放置することは野母崎の振興にとって大きな支障となるものです。

早急に施設の新たな用途ととしての活用や地域の課題に応える新たな跡地対策を講じていく必要があります。

つきましては、貴殿におかれましてはどのような活用が良いと思われるかお考えをお聞かせ下さい。



※このことについて皆様のご意見を別紙回答書によりお寄せいただければ幸いです。
よろしくお願いたします。

連絡先 高比良 元 政務調査事務所 長崎市晴海台町 2-9 TEL/FAX 892-1825